

授業科目名: スポーツ(2)	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数: 1単位	担当教員名: 渋谷聡・秋澤一輝・住本純 担当形態: クラス分け・単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
科目	免許法施行規則 第66条の6に定める科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	体育		
「学位授与の方針」との関係			
DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる(実践力) DP5.共生社会創造の目的のために、様々な分野について絶えず学び続ける態度を持つことができる(継続力)			
授業のテーマ及び到達目標			
(1)「する」スポーツ(特に自然環境を生かしたスポーツ)について他者に説明することができる。 (2)「みる」スポーツについて他者に伝えることができる。 (3)「支える」スポーツについて実践することができる。			
授業の概要			
<p>本学開講科目であるスポーツ(1)では、主に生涯スポーツや運動を通して健康や体力について学修することとなっている。しかし、「する」スポーツには、それ以外にも自然環境を戦術として利用するものや、自然環境の中で行うものもある。また、スポーツとの関わりには、必ずしも「する」だけではなく、「みる」ことや「ささえる」こともある。</p> <p>本授業では、「する」、「みる」、「ささえる」という観点から、スポーツの奥深さ、面白さ、楽しさ、課題について体験を通して学び、受講者の今後の人生が豊かになるための可能性を探っていく。</p>			
授業計画			
<p>第1回:「する」スポーツ(1)自然環境とスポーツの関わり①身体的影響 第2回:「する」スポーツ(2)自然環境とスポーツの関わり②心理的影響 第3回:「する」スポーツ(3)自然環境とスポーツの関わり②社会的影響 第4回:「する」スポーツ(4)自然環境に対してスポーツが与える影響 第5回:「する」スポーツ(5)自然とスポーツの共生 第6回:「する」スポーツ(6)自然と関わるスポーツの実践 第7回:「みる」スポーツ(1)直接的な観戦(ライブ) 第8回:「みる」スポーツ(2)間接的な観戦(メディア) 第9回:「みる」スポーツ(3)2つの観戦の可能性(メリット・デメリット) 第10回:「ささえる」スポーツ(1)スポーツボランティアとは 第11回:「ささえる」スポーツ(2)スポーツボランティアの現状 第12回:「ささえる」スポーツ(3)スポーツボランティアの課題 第13回:「ささえる」スポーツ(4)スポーツボランティアの実践(生涯スポーツ) 第14回:「ささえる」スポーツ(5)スポーツボランティアの実践(アダプテッドスポーツ) 第15回:「する」、「みる」、「ささえる」スポーツの関わり</p>			
科目修得試験			
スクーリングでの学修			
「ささえる」スポーツの課題や解決方法について、グループディスカッションといったアクティブラーニング手法や実践を通して学びを深めていく。(主に第10回～第15回の内容を含む)。			
テキスト			
<p>・『環境白書 第2節 3 自然とのふれあいを生活の中へ』環境庁 https://www.env.go.jp/policy/hakusyo/h10/10654.html ・二宮昌也(2017)「スポーツボランティア読本―「支えるスポーツ」の魅力とは?」悠光堂 978-4906873845</p>			
参考書・参考資料等			
<p>・スポーツ庁「アウトドアスポーツ宣言」 https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop09/list/detail/1399436.htm ・令和5年度「障害児・者のスポーツライフ調査」の結果 https://www.mext.go.jp/sports/content/2022319-spt_kensport01-000034742_01.pdf</p>			
学生に対する評価			
スクーリング評価(25%)、レポート評価(25%)、科目修得試験(50%)			